市民活動を応援するセンターの情報誌　編集・発行

コミュfニュース

富士市民活動センター

2015.9.25発行
第42号

コミュfはこの秋10周年！

富士市民活動センター
コミュニティf
富士市吉原 2－10－20
TEL 0545-57-1221
FAX 0545-57-1091
URL　http://comf.net/
Blog　http://blog.canpan.info/comf/
Facebook　http://www.facebook.com/comjp
コミュニティf　検索

イベント報告

富士市市民活動支援補助金セミナー開催されました　9/5

昨年に引き続き「富士市民活動支援補助金」の募集がはじまりました。コミュニティｆでは、９月５日に市民活動支援補助金申請のためのセミナーを実施しました。講師に、富士市役所市民協働課の中村さん・鈴木さんを迎え、富士市民活動支援補助金制度の概要を説明をして頂き、実際の申込書を使って書き方のポイントや実施報告書を参考に記入事項の注意点などをレクチャーして頂きました。
後半の質疑応答では、「交付の時期はいつ？」「補助金の上限は？」など参加者から質問が寄せられ、講師の方から丁寧な回答を頂きました。

富士市民活動支援補助金制度について
くわしくは、富士市役所ホームページをご覧ください！制度の概要のほか、H25年度以降の交付実績等も見ることができます。

ふじのくに子ども芸術大学

視聴者1000万人以上？
動画サイトで自分を表現しよう！　8/23

動画を発信することの可能性は無限大に広がる一方、悪質な事件に発展しかねないケースも多く、その在り方が見直されています。
去る８月23日、動画製作から配信までを学ぶ講座「動画サイトで自分を表現しよう！」がコミュニティｆで行われました。
動画投稿サイトで富士市の魅力を発信している田村逸兵さん・高橋勇貴さんを講師に迎え、多数の応募者の中から選ばれた小中学生の参加者13名が３グループにわかれて動画作成に取り組みました。
「駄菓子を組み合わせて新しいお菓子を作ってみた！」をテーマに、実際に撮影に足を運び、編集、投稿までを子どもたちが挑戦しました。動画制作の楽しさを体験するとともに、インターネットで動画サイトを利用する際に気をつけなければならないマナーや注意点なども学びました。

コミュニティｆ 新規団体登録

平成27年7月～9月に新規登録された団体を届け出順にご紹介致します。

団体名	活動目的・内容	団体名	活動目的・内容
ナチュラルスマイル2	ＣＳＰ講座	富士にほんごの会	在住外国人への日本語教育。国際交流の場の提供。
しつらえヨガ	リラックスヨガで心も身体も健やかに。	葉彩画よつば会	葉彩画を通じ友好を深める。
富士中同窓会	同窓会の打ち合わせ	富士落語会	本物の落語を聞いていただき、面白さを知ってもらう。
Ｈａｐｐｙ はぐ Ｈｅａｒｔ	子育て世代が孤立しないよう地域等でつながりあえる支援。	富士間税会	税の完納運動
葉っぱ＆わかばの会	葉彩画の製作	静岡県フルート協会	県内フルート愛好家に発表と鑑賞の場を提供と交流。
富士フィルハーモニー管弦楽団	音楽を通じて、地域音楽文化の発展向上に努める	富士市陶芸協会	陶芸教室の開催
犬猫問題を考える会	捨て犬、猫に関わる諸問題を社会に対し提言を行っていく。	情報協同組合mallittera	地域課題の情報共有
ドリームアカデミー	障害者福祉に関する勉強会	吉原2中ＰＴＡ体育保健部	ＰＴＡ活動

ＮＰＯ 支援助成金情報

***時間の経過に伴い、情報が更新されている場合があります。詳細は、センターＨＰまたはスタッフまでお尋ね下さい。**

助成制度名	カテゴリ	実施団体	応募締切
2015年度損保ジャパン日本興亜福祉財団「認定NPO法人取得資金」助成	社会福祉	公益財団法人　損保ジャパン日本興亜福祉財団	10/30
市民ファンド推進プログラム2015「市民ファンド/コミュニティ財団の着実な発展をめざして」	市民活動	特定非営利活動法人　市民社会創造ファンド	10/31
平成27年度　生命保険協会元気シニア応援団体に対する助成活動	高齢者健康管理自立支援	生命保険協会	10/31
2016年度（平成28年度）助成	社会貢献	公益財団法人　大阪コミュニティ財団（OCF）	11/30
第54回下中科学研究助成金募集	自然科学学校教育	公益財団法人 下中記念財団	12/10
キャリアアップ助成金	労働 キャリアアップ	厚生労働省・都道府県労働局・ハローワーク	随時
研究開発型中小企業に対する審査請求および特許料の軽減	中小企業研究開発	特許庁	随時

ＮＰＯ用語集

●ビューロクラシー（bureaucracy）

ひ

官僚制・官僚組織、またはその運営。
個人のボランティアから出発するＮＰＯも組織として拡大していくとビューロクラシーを必要とし、また現実にビューロクラシー化します。
組織として大きくなったＮＰＯは持続的な責任のある運営を図っていかなければならず、社会評価を得るために画一的なサービスを行う必要もあり、マニュアル作成や新人ボランティア教育なども必要になるからです。